

京都女子大学

生活福祉学科紀要 第17号

Journal of Living and Welfare
Kyoto Women's University No.17

京都女子大学家政学部生活福祉学科

Department of Living and Welfare
Faculty of Home Economics
Kyoto Women's University

February 2022

生活福祉学科紀要

第 17 号

目 次

原 著 論 文

- 養護教諭の養成段階において「ICT活用指導力」を育成するための要件
.....岩崎 保之, 大川 尚子, 井澤 昌子..... 1
- 養護教諭とスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの効果的な連携の在り方について(第1報)
—養護教諭の調査結果—
.....岡本 智香, 大川 尚子, 岩崎 保之..... 13
- 領域「言葉」に関連する絵本に対する保育者の意識
.....山口 恵子, 齊藤 勇紀, 岩崎 保之..... 23

総 説

- 小児期の近視の進行要因と予防
.....井上 文夫..... 31

研 究 ノ ー ト

- 養護教諭が行う医療的ケアの実施状況とその認識 第2報
.....井澤 昌子, 大川 尚子, 東 由美子..... 39
- 中学生の登校忌避感情と生活習慣との関連
.....井上 文夫..... 43
- 「総合的な学習/探究の時間」活性化の認識に影響する校長及び総合推進担当教員の取組
.....岩崎 保之..... 49
- 養護教諭の職務に関する調査 第1報 (保健室経営計画)
.....大川 尚子, 内田 朋花, 矢本 良江, 竹中 香名子, 西 美絵, 大更 真須美..... 59
- 学校における性に関する指導の進め方—WYSH教育の取り組み—
.....大西 祐子, 大川 尚子, 岩崎 保之, 長谷川 法子..... 67
- Bibliographic research for the utilization of facilitation in basic nursing education
..... Seiichi Sato, Kanae Kakinuma, Emi Tashiro and Yasuyuki Iwasaki..... 71
- 幼児期の発達特徴を踏まえた運動遊びの指導法—保育者の運動遊びに対する関心を基にして—
.....佐藤 菜美, 齊藤 勇紀, 岩崎 保之..... 83
- 英国における子どもの貧困問題
.....正野 良幸..... 87
- 地域防災行動意図とコミュニティ意識の関連
.....鈴木 依子..... 93
- 養護教諭が「社会福祉士の知識を活かしてよかった」と思う取り組みについて
.....鈴木 依子..... 99
- 高等学校の養護教諭における生徒の性に関する課題の把握と解決に向けた取組
.....光武 智美, 岩崎 保之..... 105

コロナ禍における高校生の心身の変化 第1報 (月経痛)矢本 良江, 新沼 正子, 古株 ひろみ, 八木 利津子, 岩崎 保之, 大川 尚子.....	113
語りにみられる離島の介護職員の職業意識	吉川 直人..... 119
死の対話の場におけるワークやツール開発の現状 開発者たちへのインタビュー調査から	吉川 直人, 林 美枝子..... 125
活 動 報 告	
京都女子大学養護・福祉教育学会の設立について.....	135

京都女子大学生生活福祉学科紀要投稿規定

(2020年8月19日制定)

1. 原稿は生活福祉学科に関係のある原著論文、総説、研究ノート、自由論叢、研究室だより、卒業生だより、実習記および見学記などとする。投稿者の制限は設けない。
2. 原稿の採否、分類は、編集委員会に一任とする。
3. 原著論文は他誌に未発表のものとする。
4. 原著論文は編集委員会において査読を行う。編集委員会は必要により外部識者に査読を依頼する。
5. 原著論文以外の原稿の執筆者は、原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。
6. 原稿中の字句については、編集委員会において加除、修正を行うことがある。
7. 原稿はワープロを使用し、印字した原稿と共に編集委員会において指定する方法で提出する。
8. 原稿の書き方は下記の通りとする。
 - (1) 原著論文は表題頁、英文抄録(250語以内)、本文、文献、図説、表、図の順にまとめる。
 - (2) 原著論文の本文は可能な限り見出を付け、I. 目的、II. 方法、III. 結果、IV. 考察、V. 結論の順とする。
 - (3) 原著論文は表題の下に著者名を書き、続いて英文表題とローマ字著者名を記載する。続いて著者名(含 Email address)を和文、英文で記す。
 - (4) 文章はひらかな、当用漢字を用い、現代かなづかいにより、化学用語は文部省学術用語による、外国語音訳にはカタカナを用いる。
 - (5) 本文の区分はポイントシステムにより、大見出し、中見出し、および小見出しを明確にする。なお、小見出し以下の区分はアルファベットによる。

〔例〕 II. 方法

 1. 生活習慣調査
 - 1) 食品等摂取量・頻度の調査
 - A. 飲酒量
 - (6) 句読点およびカッコには1こまを与える。ハイフンは1こまの中に明瞭に書く。新しい行の初めは1こまあける。
 - (7) 一般に通用している物質名、術語などに対しては外国語を用いないこととする。
 - (8) 数字はすべてアラビア数字を用い、数量は原則としてC.G.S.単位を用いる。
 - (9) 表、図および写真の番号は表1、表2、…図1、図2、…のように表わし、表の説明は表の上を書く。図の説明は、別の用紙にまとめて書く。
 - (10) 図、表および写真は本文中に挿入箇所を明示して、別に添付する。
 - (11) 本文中の引用文献番号は出現順に¹⁾のように上付きで書く。文献は本文中の文献の項目に番号順に並べる。
 - (12) 引用文献が雑誌の場合は著者名、表題名、雑誌名、年号、巻数、頁数の順に書き、引用文献の略し方は原則として日本化学総覧およびChemical Abstractsの規定による。著者が7名以上ある場合は3名まで記し、残りの著者は「その他、またはet al.と略す。

例) Hines LM, Stampfer MJ, Ma J, Gaziano JM, et al. Genetic variation in alcohol dehydrogenase and the beneficial effect of moderate alcohol consumption on myocardial infarction. N Engl J Med 2001; 344: 549-555.
 - (13) 引用文献が書籍の場合は 著者名:論文名, in 書名, (編集者名), 版数, 発行者, 発行地名, 発行年(西暦), 起始—終了頁 を記入する。

例) 藤原久義:心臓腫瘍 in 心臓病学(河合忠一編), 初版, 朝倉書店, 東京, 1986年, pp784-789.
9. 校正は著者が行うことを原則とする。別刷の希望者に対しては実費を申し受けるものとする。
10. 紀要に掲載された総説、原著論文、自由論叢、その他全ての著作権は京都女子大学家政学部生活福祉学科に属すものとする。

編集委員 ○印は委員長

○岩崎 保之
井上 文夫
大川 尚子
下村 雅昭
正野 良幸
鈴木 依子

京都女子大学 生活福祉学科紀要 第17号 (非売品)

2022年2月17日 発行

編集者 岩崎 保之
発行所 京都女子大学家政学部生活福祉学科
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35
電話 075-531-2142
印刷所 中西印刷株式会社
京都市上京区下立売通小川東入
電話 075-441-3155
